



10 31 深まる秋に調和する美 町民文化祭芸能発表

町民文化祭芸能発表がゆめりあで開催され、文化芸能活動に携わっている町民が、日ごろの成果を披露しました。

町民文化祭は、文化協会が主催する秋の恒例行事。改善センターで行われる絵画や書生け花などの展示作品が中心の作品展と、ステージ発表が中心の芸能祭からなります。

10時から始まったステージでは、郷土芸能や舞踊、太極拳など11演目が、3時間半にわたって発表されました。舞台衣装に身を包んだ出演者が演技を終えると、客席から大きな拍手が送られました。

また、ロビーには茶席が設けられ、茶の湯の作法で来場者をもてなしました。

11 10 なんでも鑑定団本番目前 番組制作スタッフが町内ロケ

11月21日(日)の出張！なんでも鑑定団 in 新十津川町の公開収録に先立ち、テレビ番組制作スタッフの3人が、町内でロケを行いました。

スタッフは、新十津川神社や金滴酒造、開拓記念館、滝新橋などをまわって、番組内で放送する町の紹介コーナー用の映像を撮影しました。

番組は、12月21日(火)の20時54分から、テレビ北海道(TVH)で放送されます。

(公開収録の様子は4ページ)





11 6 芸術の秋 町民音楽祭開催

今年で27回目を迎える町民音楽祭がゆめりあで開催され、趣味や学校などで音楽活動をしている幼児から高齢者まで、幅広い世代の町民が、日ごろの練習成果を発表しました。

ステージでは、合唱やピアノ、ハーモニカ、マリンバ演奏、バンドなど11組の発表があり、来場者は深まりゆく芸術の秋の音色に耳を傾けていました。

11 7 故郷への思いいつまでも

母村十津川村や新十津川町にゆかりのある人々でつくる関東十津川郷友会の総会が、東京で開催されました。

十津川村の村上次郎副村長と植田満町長、宮本英雄J Aピンネ組合長、本町出身の17人を含む70人の出席者を前に、十津川村出身の深瀬良一会長があいさつをしました。

総会後は、金滴や新米ななつぼし、ミニトマトを囲んで、ふるさに思いをはせながら和やかに歓談していました。



11 20 酒造り一筋41年の杜氏とうじが語る

金滴酒造で杜氏を務める小野寺仁光さんが『杜氏日本酒を語る』と題した講演会を図書館で開き、日本酒にかける情熱を語りました。

小野寺さんは、高校を卒業した昭和44年に金滴酒造に入社し、以来41年間にわたって金滴の味を守り続けてきたベテラン。

「日本酒造りは、米麴こうじによる糖化と、酵母による発酵を1つのタンクで並行して進めます。米麴と酵母の作用のバランスを取ってあげるのが、杜氏や蔵人の仕事です」と話していました。

